



2023年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社E T Sホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 加藤 慎 章  
(コード番号 1789 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役経営管理部長 日下 直  
電話番号 03-5957-7661

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月21日付「2022年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2023年9月期第2四半期(2022年10月1日～2023年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

2023年9月期第2四半期業績予想の修正(2022年10月1日～2023年3月31日)

#### (1)業績予想の修正

##### ・連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	2,473	105	90	63	9.89
今回修正予想(B)	4,442	247	268	114	17.95
増減額(B-A)	1,969	142	178	51	—
増減率(%)	79.6	135.4	198.3	81.5	—
(ご参考)前期実績 (2022年9月期第2四半期)	3,000	142	145	98	15.40

##### ・個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,861	74	61	43	6.76
今回修正予想(B)	3,263	147	134	4	0.65
増減額(B-A)	1,402	73	73	△38	—
増減率(%)	75.4	99.5	118.9	△90.4	—
(ご参考)前期実績 (2022年9月期第2四半期)	2,021	47	46	40	6.40

## (2) 修正の理由について

### ① 連結業績

個別業績および子会社の工事が順調に進捗したことから、全ての数値において予想を上回る見通しとなりましたので、上方修正いたします。

### ② 個別業績

電力事業および設備事業ともに進行基準工事の手持ち工事が順調に進捗したことから、売上高、営業利益、経常利益ともに予想を上回る見通しとなっております。一方、訴訟損失引当金繰入として7千2百万円、投資有価証券評価損として1千9百万円、および子会社整理損として1千5百万円を特別損失として計上したことにより、第2四半期純利益の見込みが4百万円となり、予想を下回る見通しとなったため、下方修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、今回、第2四半期に前倒しで計上することが出来た売上および利益は、通期で予定しておりました完成工事の一部であり、本決算に向けて更なる上積みをするべく励行いたしますが、予想値につきましては工事の進捗が天候や資材高騰の影響を受けることがあり、現時点で合理的に見積もることが困難であることから、前回公表を据え置きます。今後の動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

## (3) 特別損失の計上及びその内容

上記(2)に記載のとおり、特別損失として、2019年8月に株式会社アークデザインインターナショナルより提起された工事請負代金5千5百万円の支払いを求める訴訟に関し、訴訟損失引当金繰入額7千2百万円、当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価値が著しく下落したと判断したものについて、投資有価証券評価損1千9百万円、海外子会社の整理に伴う費用として子会社整理損1千5百万円を計上することといたしました。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確定要素等の要因が含まれております。実際の業績等は様々な要因により、これら業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上